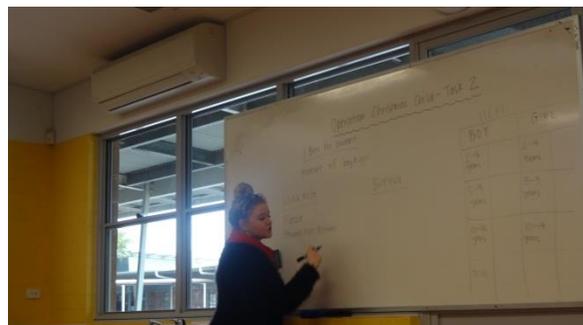


オーストラリア姉妹校派遣レポート

2年生 女子

保育の授業の様子です。皆でアイデアを考えて、カンボジアの子ども達に送るプレゼントを作っていました。



ランチタイムは2回ありました。食堂でハンバーガーなどを買ったり、家からサンドウィッチやお菓子を持ってきたりしていました。

いきなり面白いダンスを踊り始めて笑いあったり色々なことを話したりしていくといつの間にか多くの友達ができっていました。



週末にバディであるダリアンの弟がやっているオーストラリアンフットボールを見ました。男女関係なくやっていて、とても楽しそうでした。



私が滞在したバンバリーという町は西宮とは全然違って、空の色は澄んでいるし空気がきれいでした。ほぼ毎日大雨でしたが、止んだ後は虹や星を見ることが出来ました。最初は楽しみももちろんありましたが不安の方が大きかったです。でもホストファミリーやダリアンの友達が沢山話しかけてきてくれたので、すぐに不安な気持ちが無くなりました。

1番の思い出はダリアンと色々な話をしたことです。お互いの国のことを教えあったり、好きなもののことなどを話したりしました。また、2人とも音楽を聴くことが好きなのでよく洋楽を聴いていました。時間が経つのがいつもより早く感じました。

彼女は日本語を勉強していて、話すのも書くのも思っていたよりずっと上手でした。日本語が分からなくて聞いてきたとき、どう教えたら良いのか分からなくて少し戸惑いましたが理解してくれました。生活している中で何度か日本語で話してくれた時がありました。私ももっと英語を話せるようにならなければと思いました。日本でやっているリスニングよりはるかに速かったので聞き取れないことが多かったです。今のままでは海外で通用しないことに気づきました。また、これからどのように勉強するべきかを考えるきっかけを与えてくれました。

オーストラリアの学校は静かな時間がほとんどありませんでした。先生と生徒で話し合い、分からないところがあれば挙手はせずすぐに質問していました。そうすることでコミュニケーション力が高まると分かりました。日本もそのような授業を取り入れてみても良いのかもしれないと思いました。授業中にお菓子を食べたり携帯を触ったりなど自由でしたが、先生の話はしっかり聞いていて驚きました。

この2週間で色々なことを学びました。世界はとても広いということを改めて感じました。他の国に行って、もっと異文化交流をしたいです。オーストラリアに行く前は、海外の人と話すのがこんなに楽しいことだとは思っていませんでした。毎日英語を話していて、本当に楽しかったです。日本では出来ないことが出来て、良い経験になりました。将来、どこかで生かしたいです。一生忘れない最高の思い出になりました。